

令和6年度

上京区 ふくしをなんでも

しっとこ講座

Program



第1部

- トークセッション（上京区地域福祉フォーラム）
～「心」とコミュニティ 災害を通じて考える～

第2部

- 映画上映「心の傷を癒すということ」

ユニバーサル上映

阪神・淡路大震災時、自ら被災しながらも避難所で多くの被災者の声に耳を傾け、心の傷に苦しむ人たちに寄り添い続けた実在の精神科医・安克昌氏をモデルに描く、NHKドラマの劇場版。人は傷つきやすい。被災者たちと向き合い、精神科医療の大切さを実感した主人公がたどり着いた、本当の「心のケア」とは一。



上京区役所
ホームページ→



同志社大学寒梅館 地下1階 **ハーディーホール**

地下鉄「今出川」駅
下車2番出口より北へ徒歩2分
市バス「烏丸今出川」
下車北へ徒歩5分
(烏丸通今出川上る西側)

※駐車場・駐輪場はありません。
※公共交通機関をご利用ください。



令和7年
2月3日(月)

午後1時30分～午後4時
(午後1時から受付開始)

入場無料
(事前予約不要)

定員 **840名**

※支援をご希望の方は、当日受付にてお申し付けください。

車イス席有

トークセッション

手話通訳有

パソコン通訳有

映画上映「心の傷を癒すということ」

日本語字幕と音声ガイド付き

問合せ：上京区社会福祉協議会 TEL:432-9535 FAX:432-9536
主催：上京区役所・上京区社会福祉協議会・上京区地域福祉推進委員会
共催：同志社大学今出川校地学生支援課
協力：京都リップル



発行：京都市上京区役所 健康長寿推進課
京都市印刷物 第064676号
発行年月 令和6年12月

癒すということ

心の傷を

誰もひとりぼっちにさせへん



”心のケア”のパイオニアとして被災者の心に寄り添い続けた精神科医の半生

阪神・淡路大震災時、自ら被災しながらも避難所で多くの被災者の声に耳を傾け、心の傷に苦しむ人たちに寄り添い続けた実在の精神科医・安克昌氏をモデルに描く、NHKドラマの劇場版。

在日韓国人として大阪に生まれ育ち、自分が何者なのか悩んでいた安和隆は、精神科医への道を歩む。ある日、映画館で出会った女性・終子と恋に落ち、結婚。温かい家庭を持った和隆は、全国から訪れる患者たちにも温かな眼差しで寄り添い、34歳で医局長となる。

1995年1月。大地震が起こり、和隆が勤める神戸の大学病院は患者で溢れ返る。精神科医としてできることを探し、避難所で被災者の声を聞こうとするも、なかなか受け入れてもらえない。暴言や泣き声が絶えない避難所、地震ごっこで遊ぶ子供たち……。

人は傷つきやすい。被災者たちと向き合い、精神医療の大切さを実感した和隆がたどり着いた、本当の「心のケア」とは——。

柄本 佑

尾野真千子 濱田岳 森山直太郎 浅香航大 清水くるみ 上川周作 濱田マリ
谷村美月 趙珉和 内場勝則 平岩紙 / キムラ緑子 石橋凌 近藤正臣

主題歌／挿入歌 森山直太郎 脚本 桑原亮子

